

## 高校生が不安なく進路を決定するための支援に関する提言

### ○ 県内大学等の情報発信の充実

県内大学等において希望する分野が学べるかといった高校生等に寄り添った情報の発信が不足しているのではないのでしょうか。

高校生等が正確な情報を得て進路を決定するとともに、県内大学等への進学を促進するためにも、県内大学等にどのような学科があるか、どういったことを学べるかなど高校生等が必要とする情報を集約してわかりやすく発信する仕組みを、県と県内大学等が連携して作ってください。

### ○ ひとり親家庭や保護者が難病を抱える家庭への支援

ひとり親家庭や保護者が難病を抱える家庭では、経済的事項により進学をあきらめてしまう高校生がいる実情があります。

行政の支援を必要な人に確実に届けるため、支援制度の概要や手続きを高校生等が理解できるよう広報を工夫するとともに、生活費の支援や貸与型奨学金の利息補助など経済的支援策を充実してください。

### ○ 定時制等に通う高校生への支援

定時制に通う多くの生徒は、学費や家計のためにアルバイトを行っており進学のための学習時間を確保できないなどの問題を抱えています。

定時制や通信制の生徒への経済的支援策である定時制・通信制課程修学奨励金について、申請時期を複数回設定する、事前貸与でなく勤務実績証明後の還付方式にする、連帯保証人を一人にするなど利用しやすいように改善してください。また、平成28年度に廃止された、教科書代を支援する定時制通信制教科書給与事業を復活してください。

○ 外国籍の高校生等への支援

日本で生まれ育った外国にルーツを持つ高校生の中には、日常的な日本語の会話は可能でも漢字などの読み書きは難しく、行政等の書類を理解することが非常に困難な人がいます。

日本語の読み書きが苦手な外国籍の高校生、さらには小中学校の児童・生徒のためにも、行政などの公的機関や病院、学校等の身近な施設の表示や文書について、ふりがなを付すなど誰もが理解しやすい情報の伝達に努めてください。また、外国籍の人がオンラインで相談でき、必要な手続きをオンラインでできるようにするなど相談窓口を充実し、その存在を広く周知してください。

令和3年8月4日

福井県知事 杉本達治様

福井県立道守高等学校  
チーム「WORKERS」

久保 侑里奈  
嶋田 優香  
高橋 優斗  
竹内 太郎  
佐藤 エドワード